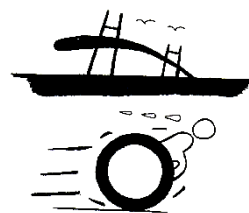


<第 51号>

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会 機関誌

2023年7月発行

# BASEL



- 発行責任者:横浜市障がい者スポーツ指導者協議会
- 編集責任者:広報担当理事
- 連絡先:〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752  
[事務局] 横浜ラポール スポーツ課内  
Fax:045-475-2053 <http://basel-y.sakura.ne.jp>



## 会長挨拶

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会  
会長 岩澤 英喜

令和5年度の総会も会員のみなさまのご理解ご協力をいただきまして開催することができました。今回の総会では役員改選が行われ私が会長を引き続き務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

また、そのほかの事案については会員のみなさまから多数ご意見をいただき、審議が深まりました。ありがとうございました。横浜市パラスポーツ担当者会議への参加により行政とも連携がとれるようになってまいりました。

そのため、昨年度以上に横浜ラポール所管行事や横浜市スポーツ協会だけでなく、各種団体や教育

委員会などからもパラスポーツイベントに関する依頼が増えることが見込まれます。今年度も会員のみなさまのご協力が必要となりますのでよろしくお願いいたします。

近年みなさまの活動をサポートするため、活動依頼情報をいち早くお届けできる仕組みの整備に努めてまいりましたが、より一層充実させていかなければならないと考えております。

そして、そのことが横浜市のパラスポーツの発展に寄与し、来年に迫ったパリパラリンピックにつながると信じております。コロナも収束に向かっているとはいえまだまだ注意を怠れない状況です。会員のみなさまも引き続き健康に留意されて、当協議会の活動にご協力いただければ幸いです。

---

## 研修コーナー

---

### 研修会報告

研修担当 後藤 貴久

研修テーマ：「救急指導会」

開催日時：2023年6月11日(日)13:30~15:00

6月11日(日)に今年度初めての研修が行われました。33名の参加でした。

今回の研修テーマは、「救急指導会」。横浜市港北消防署小机消防出張所長の新倉浩一氏を講師としてお招きし、心肺蘇生法とAEDの操作について学びました。

コロナ禍を経て心肺蘇生法の方法が少し変わったのはご存知でしょうか。成人の傷病者に対しての積極的な人工呼吸は必須ではなくなりました。人工呼吸はとても難しい手技であること、胸骨圧迫心臓マッサージと人工呼吸を併用した場合と胸骨圧迫心臓マッサージのみを続けた場合で蘇生率は大きく変わらなかったこと、感染症のリスク軽減など様々な理由があります。5年ごとにガイドラインが見直されるとのことで、定期的に講習に参加することが重要だと思います。

今回、参加された方は、全員一度は何らかの講習等を受けたことがある人でしたが、一つ一つの手技について非常に丁寧に説明いただき、とても分かりやすい講習だったと思います。実技でも、決して無理せず、自分ができる範囲でやるのが大切と繰り返し伝えていました。自分ができることも大事ですが、できる事をその場にいる人たちに伝えられるようになることが救命率の増加につながると感じました。

### ■研修の感想

- 学びたいと思っていた研修でした。実際にそんな場にあったら出来るかな。と思いました。
- 講師が丁寧な説明でわかりやすかった。
- 心配蘇生法、AEDについては今まで2、3回研修を受講しましたが、今回が一番分かりやすかったです。ロールプレイも身になりました。



---

## 第 28 回ハマピック個人競技を終えて

---

横浜ラポールスポーツ課 角井 一葵

4月2日(日)から5月6日(土)にかけて、アーチェリー、卓球、サウンドテーブルテニス、水泳、ボウリング、ポッチャ、フライングディスク、陸上競技を開催しました。

昨年度より新型コロナウイルスの感染対策が緩和され、多くの参加者と観客が競技会場に集まり、これまでのハマピックの姿に近い大会となりました。

今年度のトピックスとしましては、参加申込期間をこれまでと比べて1週間ほど短い期間で行いました。

■これまでの申込期間 … 2月1日～2月28日

■今年度の申込期間 … 2月1日～2月22日

これまで、申込期間を1か月間設けていましたが、期間を短くしたことで、選手・役員への事前通知が迅速となり、効率的な大会運営をすることができました。また、事前にポスターで周知をしていたことで、選手の混乱も最小限に収めることができました。

昨年度は、全競技延べ479 人の参加でしたが、今年度は、初出場の選手が102人増え、全競技延べ541人の選手が参加されました。また、全体で55種目の横浜市大会記録が更新され、選手全体が力をつけていることを実感しました。

最後に、大会に関わる全ての皆さまのご協力なしには、今年度のハマピックの開催は実現しませんでした。

大会運営にご尽力いただいた、各競技協会、横浜市障がい者スポーツ指導者協議会、補助役員、手話通訳のみなさま、そして最高のパフォーマンスを見せてくれた選手と、その関係者の皆さん、本当にありがとうございました。

---

## 会員の活動・体験コーナー

---

【2月26日(日)スポーツフェスタ「サッカーの日」@谷本公園】

広報

当日は良いお天気でしたが、風が強く、肌寒い日となりました。出場選手は、寒い風の中、力強いプレイを見せてくれました。



【4月2日(日)ハマピック「アーチェリー」@富岡総合公園アーチェリー場】

会員 福田 俊生



昨年2月の初級障がい者スポーツ指導員養成講座の受講から1年が過ぎ、ハマピックボランティアデビューをアーチェリーで参加しました。

自分から手を挙げるに至らず、他の活動でご指導いただいている方に背中を押され、参加することとなりました。

私達ボランティアの役割は、競技者が放つ矢の”矢取り・スコアシートへの得点記入”です。競技前、横浜市アーチェリー協会の方々より基本ルールの説明を受けて競技に入りました。

張り詰めた空気を桜の花びらと鳥の声が程好くほぐしてくれる雰囲気の中で行われました。

今回のボランティアに参加して、アーチェリーは平常心と集中力がいかに大切かを実感し、このスポーツの奥深さを感じた一日となりました。

【4月9日(日)ハマピック「サウンドテーブルテニス」@横浜ラポール】

会員 平山 和幸

ハマピック「サウンドテーブルテニス」のスタッフに初めて携わりました。ボールキーパーとして選手の側近で試合展開を目の当たりにし、そのラリーの早さに驚くばかりで、正眼者である私が選手と同じようにアイマスクを掛けて、同じようにプレイできるかと問われると、速攻で「ノー」という答えを用意しよう。

静寂の中、ラケットの打球音と鈴入りボールの転がり音に全集中力を傾け、緩急をつけたボールコントロールを駆使する選手の技にただただ、驚くばかりであった。

ブラインドランナーの伴走活動をとおして視覚障がい者のランニングサポートを行っているが、サウンドテーブルテニスは共にアイマスクを掛ければ、障がいの有無に関わらず対等に対戦が楽しめるインクルーシブスポーツの一つであると感じました。

皆さんのお住まいの近くでプレイできる環境が増えれば良いものです。



【4月9日(日)ハマピック「卓球」@横浜ラポール】

会員 池田 治雄



2年ぶりの卓球大会のボランティアに参加しました。担当は聴覚障がいの方でした。最初はコミュニケーションがとれませんでした。時間が経つにつれ緊張感もなくなりました。

無事にメダルや記録証(成績表?)を渡すことができ、ひと安心しました。(ボランティア活動より、選手として参加した方が、気が楽かな?笑)

選手のみなさんやボランティアさんのたくさんの笑顔が印象的な一日でした。ありがとうございました。

【4月16日(日)ハマピック「水泳」@横浜国際プール】

会員 板倉 陽子

ハマピック水泳競技のお手伝いをしたのは今回が初めてでした。

私は招集所の担当をしました。水泳大会の経験が無いので、任務内容はもちろん担当ごとの動きも想像することができず不安でした。しかし経験のある方々からアドバイスをいただき遂行することができました。

招集所は選手が出番を待つ場所です。緊張した顔の選手達を見ていると身が引き締まる思いがし、スムーズに待機場所に行けるよう工夫しなければいけないと思いました。



レースが進むにつれ声援も大きくなり、選手の喜怒哀楽を目の前で感じる事ができたのも招集所ならではの体験だったのではないのでしょうか。

このような素晴らしい場でお手伝いさせていただいたことに心から感謝しております。

#### 【4月23日(日)ハマピック「ボウリング」@ハマボール】

会員 山崎 正義



学生時代のボウリングブームを思い出し、ボランティアとして参加しました。当日は集合する選手の会場までの誘導と、速報へのスコア記入でした。スコアの確認をして記入する時は緊張しました。

選手の皆さんは、何度も参加している方が多いようで、緊張感の中にも和気あいあいとした雰囲気ゲームが進んでいました。

各レーン担当のボランティアさんもゲームに一喜一憂しながら、サポートしていました。ゲームが進み記入していると200点以上のスコアの選手もいて、「プロ級？」の腕前にビックリしました。ハマピック新記録が

2個も出たハイレベルな大会でしたが、会場は終始和やかな雰囲気の日でした。

#### 【4月23日(日)ハマピック「ボッチャ」@横浜ラポール】

会員 石黒 芳樹

ハマピック・ボッチャ競技の運営が、私の指導員としての初のボランティアとなりました。私は普段、地域でボッチャ大会・体験会などの運営をしています。今回は勝ち残ると国体に出場するという方々なので、皆さんとてもレベルが高いことに驚きました。特に後半の決勝が近くなると、戦略的にも、ジャックボールに赤青のボールを近づける技術が高くなり、熱い試合展開でした。



また、今日は初めてということで、先輩指導員の方から教わりながらタイムキーパーや得点の記録などを行いました。その合間で少し雑談をしたのですが、これまでのBASELでの活動や、地域の活動などのお話を伺うことができました。

今回はボッチャ競技で、私としては慣れ親しんでいる種目でした。しかし、今後はフライングディスクや陸上競技など様々な競技の運営に携わり経験を積み、幅広く障がい者スポーツを楽しんでもらえるような支援ができればと思いました。

【4月29日(土・祝)ハマピック「フライングディスク」@新横浜公園投てき練習場】 会員 長崎 浩一



この4月に初級パラスポーツ指導員資格を取得し、フライングディスク競技のボランティアとして初めて参加しました。お初ながら経験豊富な先輩方にナビしていただき、召集・誘導担当を無事全うすることができました。ありがとうございました。

アキュラシーの部で、10投中9投成功の精密な技術を発揮された選手、ディスタンス

の部で、大谷翔平さんもびっくりする柵越えの大ホームランをはなった選手、お二人とも自身が誘導を担当し、目の前で拝見できたのは、これぞビギナーズラックでした。

当日は、天気には恵まれたものの、天敵の強風が吹き荒れ、本来の実力が風に邪魔された方は残念でした。一方、風を味方につけた選手の飛翔は目に焼き付いています。自然との戦いの要素もあり、面白い競技だと思いました。今後も様々な競技のボランティアとして参加し、白熱した競技をちゃっかり楽しませてもらいます。お疲れ様でした。

【5月6日(土)ハマピック「陸上競技」@三ツ沢公園陸上競技場】

会員 安齋 沙織

私は、今回初めて「ハマピック陸上競技」にボランティアとして参加しました。担当は、「砲丸投・ビンバグ投・ジャベリックスロー・ソフトボール投」の投擲審判員でした。当日は、立ってられないほどの強風で、物が飛ばされるぐらい過酷な環境でしたが、そんな中でも、選手たちが風に負けることなく、懸命に投げている姿が目に焼き付いています。

特にビンバグ投は、車椅子を使用している方が参加するため、投げたものが風で戻ってきてしまうのではないかと心配していましたが、全員がケガなく無事に競技を終え、記録を残すことができたため、本当に良かったです。

私は今回、聴覚障害の選手たちが、手話ボランティアや通訳の方々とのコミュニケーションを取っているのを間近で見たことにより、手話の素晴らしさを改めて実感しました。またボランティアとして参加できた時には、他の競技にも携わってみたいです。強風の中、みなさんお疲れ様でした。



【5月27日(土)横浜市ふれあいスポーツ大会 @横浜ラポール】

会員 石黒 芳樹

横浜市ふれあいスポーツ大会は、一言で言うと、「BASEL、一緒に動く!」という大会でした。今回、競技補助を担当しました。

ディスク競技では、参加者がアキュラシーとストラックアウトに挑戦しました。参加者がディスクを投げる時には大きな声で応援し、投げたら素早くディスクを回収します。

バランスボールは、ソフトバレーのボールを2人の参加者がラケットで挟んで約15メートル先のボール



に行き、ポールを回って戻ってきます。この時に、ポールが落ちたらすぐに拾ってラケットに戻し、「もう少し」「頑張って」と声をかけること。

車いす競技では、車椅子を押ししたり、補助したり。まさに「BASEL、一緒に動く！」という感じでした。各々の競技で、上手くできた参加者、なかなか上手くいかなかった参加者など様々でした。しかし、言葉に出さないまでも、終わった時の多くの参加者の笑顔を見た時、BASEL 冥利に尽きると感じました。

### 【5月28日(日)インクルーシブスポーツ体験会「ボッチャ体験」@大通り公園】 会員 村田 牧子

当日は、久しぶりの好天に恵まれた週末となり、来場者も多くみられました。障がいのある人、ボッチャを知っているけれどやったことはない人、一人で来た人、お友達や家族と来た人など様々な方がいらっしゃいましたが、何回も並んでお友達と対戦したり、その場で出会った人やスタッフと対戦したり、自然とでしたが、まさにインクルーシブスポーツとして皆さん楽しんでいただるように感じました。



今回は、石畳の上にシートを広げてストリート用のボールを使って行いましたが、ボッチャがどこでもできることを体感してもらえたと思います。これからも、ボッチャが誰でも気軽に取り組めるスポーツとして、さらに普及していくことを期待しています。

### 【6月4日(日)関東ブロック地区予選会「バレーボール」@横浜ラポール】 会員 加藤さゆり



鹿児島県で開催される国体の代表が決まる関東大会ということもあり、観客席から熱い視線が送られる中で始まりました。練習時から監督、選手同士が声を掛け合い、良い緊張感の中にも笑いが聞こえ、少しリラックスした雰囲気も感じました。

試合が始まると、練習の時以上にコートにいる選手、待機の選手、コーチ陣がどんな状況でも声を掛け合いながら1点1点を大切に、集中した試合が進んでいきました。さらに、観客席から白

熱した応援も聞こえ、全てが一体となっている感覚を覚えました。

試合直前選手と話す機会があり、「緊張している？」と質問したら「緊張していますよ。でも楽しい時間です。」と、返ってきた。他の選手もその答えに笑顔で頷いていました。

この日まで厳しい練習の時間もあったと思いますが、パワフルな試合を間近で見られ次回もボランティアとして参加しようと決意しました。

## お知らせコーナー

### 【 総会報告 】

2023年6月11日(日)横浜ラポール:ラポールボックスに於いて開催され、全ての議案が承認されました。ご出席および委任状提出を頂いた会員の皆様、ありがとうございました。  
議案書の一部集計値に誤りがありましたことをお詫び致しますとともに、改正版を議事録と併せまして同封しておりますのでご高覧下さい。



### 【 2023年度第2回研修会予定 】

10月15日(日)の午前中に、横浜ラポールで後期研修会を予定しています。研修内容等の詳細は、後日改めてお知らせします。  
コロナの影響により開催は左右されますが、今のところ対面での実施を予定しています。是非、日程を調整してご参加ください。

#### 後期研修会

日時：10月15日(日) 午前中  
会場：横浜ラポール  
形式：対面で実施予定  
\*詳細は後日、ご連絡します!

## 【 イベント等の 運営補助スタッフの募集 について 】

随時、依頼のあるラポール主管イベントの他、関連団体主管のイベントにおける運営補助スタッフの募集につきましては、メールにてご案内を致しますので、下記(↓)にてアドレスの登録をお願い致します。

**Check**

### 【 メールアドレス登録の件 】

会員の皆様に地域から寄せられるボランティアの依頼情報などをメールで配信しています。情報配信を希望される方は QR コードを携帯、スマートフォンなどで読み取るか、下記のアドレスよりお名前・会員番号を入力し返信してください。

※既に登録済の方は、登録の必要はございません。

Mail ([basel@basel-y.sakura.ne.jp](mailto:basel@basel-y.sakura.ne.jp))



【 会員数 2023年7月現在 444名 】